

大労作

原爆投下の 出撃基地 その島の 歴史と人々

吉永直登

テニアン tinian

太平洋から日本を 見つめ続ける島

著者

吉永 直登

よしなが なおと

1963年生まれ。上智大学法学部卒。

NHK勤務(山形放送局)を経て、1991年に共同通信社入社。神戸支局勤務時に阪神大震災が発生。震災、復興が大きな取材テーマになる。本社では環境省や農林水産省などを担当。映像担当部署のデスクも務めた。

もくじ(抜粋)

- I **チャモロの島、列強の島**
海の民 チャモロ/異文化の統治者
- II **南に向かった日本人**
名誉と富を求めた男たち/「移民県」沖縄
- III **開墾、日本人の島**
日本人、テニアンに上陸/村ができた
流れ込む沖縄移民/町ができた
- IV **懐かしき日々**
スズラン通り/料亭街/南洋の青春
地球劇場/風変わりな芸術家
- V **そして、全てを失った**
国際連盟脱退、松江失脚/悲劇の海/米軍来襲
テニアン上陸/戦闘の終焉/「玉砕」の誤解
- VI **米軍の島、「小さな戦後」**
投降、日系兵/世界最大規模の航空基地
B29、日本本土空襲/初の戦後民主主義学校
- VII **原爆基地の島、再びチャモロらの島**
原爆投下/東京ローズ/終戦/引き揚げ
再びチャモロの島に、そして未来へ

類書の ない 大労作

推薦

前広島市長

秋葉忠利

原爆投下の出撃基地だった
テニアン。

そこで生き、歴史を紡いだ日本人たちの
足跡を克明に描いた力作。
歴史とは一人ひとりの人間の生きる
姿であることに胸を打たれる。

多くの皆さんに、是非
お読みいただきたい。



あけび書房 定価(本体 1800円+税)

四六判・並製・256ページ

本体1800円

ISBN978-4-87154-168-8

「あの戦争さえなければ」「貧しかったが、楽しかった」

テニアンは太平洋戦争の戦場になり、入植者は筆者のような戦後生まれには想像もできない悲劇を経験した。本書は現在残る記録と多くの元住民がつづった文章、そして筆者が会った人たちの話をひとつの線で結び、

テニアンの歴史をまとめようとした試みだ。(中略)そして、読まれた方に次のことも感じていただけたと思う。

テニアンは日本から遠く離れた太平洋の小島ではあるが、その歴史は、まぎれもなく日本の歴史の一部であることを。

本書「はじめて」より

あけび書房

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5

TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609 <http://www.akebi.co.jp> akebi@s.email.ne.jp

キリトリ線

ご記入のうえ、最寄りの書店が取引先、あるいはあけび書房が著者へご注文下さい。

あけび書房 TEL03-3234-2571 FAX03-3234-2609

注文書

書店印・取扱先

テニアン—太平洋から日本を見つめ続ける島 ()冊 注文します

その他・備考

氏名・団体名

ご担当者
氏名

送り先 〒()-()

電話 ()